

【高等学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)

- A: 十分達成できている
- B: おおむね達成できている
- C: やや不十分である
- D: 不十分である

学校名	佐賀県立牛津高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が学校の教育目標の実現に向けて取り組むことができた。 ・学校評価アンケートでは保護者より本校の教育活動に対し、概ね好意的な評価を得ることができた。特に、基本的な生活習慣や規範ルールが身につけていると感じている生徒・保護者が増加している。
2 学校教育目標	人格の向上を目指し、教養を高めるとともに、専門的な知識・技術の習得を図り、心身ともに健全で調和のとれた有為な職業人として志を高く持ち、社会貢献できる人材を育成する。
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・知・徳・体のバランスの取れた教育を推進し、魅力ある学校づくりを行う。 ・業務改善・教職員の働き方改革を促進する。

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目				最終評価			
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度(評価)		実施結果	
	取組内容	成果指標(数値目標)		達成度	評価	評価	意見や提言
●学力の向上	○共通教科の基礎学力の向上	・基礎力診断テストの成績でD以上の生徒の割合を50%以上にする。	・目標標準を意識した授業内容、課題の出し方について各教科内で共通理解を図る。
	○家庭教育の充実 ・専門的学習の基礎・基本の定着 ・起業家マインドの育成	・家庭科技術検定の合格率100%を目指す。 ・学校設定科目「起業家入門」や学校家庭クラブ活動において起業家マインドの育成を目指す。	・指導方法や教材についての研究を行うと共に個々の到達度に応じた指導を行う。 ・技術の到達度を評価する独自のテストを実施する。 ・起業家マインドの育成について、「起業家入門」をはじめ、各科目において指導者の意識の共有化を図る。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	・講演会等を実施し、自他の生命を尊重できる生徒を育成する。またその内容について自己の問題としてとらえる能力を培う。	・命の大切さを学ぶ教室、性に関する講演会、薬物乱用防止講話等の開催を通して、自分や他人を大切にすることを育成するための指導を実施する。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	・いじめや差別をしない・させない・許さない意識が向上したと回答した生徒を80%以上にする。	・いじめに関するアンケートを2回以上実施し、また面談を活用し、生徒の実態把握に努めると共に、いじめの芽を早期発見する。
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成させるための教育活動	①「佐賀県に誇りや愛着を感じる／どちらかというと感じる」と回答した生徒80%以上にする。 ②「地域貢献・活性化の活動を行うことが重要である」と考える生徒70%以上にする。	・佐賀県の歴史や風土について学ぶ講演会や「佐賀語り」等を活用した事業に4時間程度取り組む。 ・家庭クラブ活動において地域貢献・活性化のために生徒が主体的に取り組む活動を行う。
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	①(学校独自成果指標) ・朝食喫食率を90%以上にする。 ②「健康に食事は大切である」と考える生徒100%を目指す。	・朝食の大切さについて、保健だよりで発信する。 ・アンケートを行い、意識の喚起を行う。 ・家庭科の授業と連携し、望ましい食習慣について考える機会を持たせる。
	●「安全に関する資質・能力の育成」	③生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・講演会や集会等で規範意識の向上や命の大切さを訴えていく。 ・交通講話、登校指導、自転車点検等を行い交通事故防止、交通マナーの向上に努める。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・学校教育活動をより効果的にかつ継続可能な形で行うために、個人ではなく組織的に各指導にあたる。 ・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---